

I、実施結果

事業収益目標 185,398,600円

経常損益目標 2,747,553円

(1) 利用者が夢中になれることを作る支援

- ・一人でも取り組めるプログラム、サービスの個別化や主体的に取り組める活動の強化
→環境設定や手順などの調整をすることで、作業効率を上げることができた。
- ・意思決定支援を取り入れた事業実施
→絵カード、写真カードを用い利用者の意志表出をできる機会を多く設けた。

(2) 福祉の担い手の拡大

- ・分かりやすく仕事を伝える
→「僕らはいつも旅の途中」(下里共著)の出版
- ・参加の手法の工夫
→施設行事にて学生ボランティアの募集を行った。

(3) 福祉の心を育てる人材育成

- ・障害福祉の原点に立ち返る経験
→共生社会フォーラムやバリアフリー演劇への参加協力を行った。
- ・障害福祉だけでなく、他機関多職種・地域住民との協働を通しての共生社会のきっかけ作り
→アジール祭り、子どもBBQを実施した。

(4) 地域に認知された法人運営

- ・行事、広報活動を通して事業所、事業内容の周知
→広報委員会の立ち上げを行った。子どもBBQを行い放課後等デイサービスの周知を行った。
- ・BCPの訓練(自治会と合同訓練含む)
→BCP計画の策定を行った。自治会等との訓練は実施できなかった。

IV、本年度の重点項目

(1) 職員確保による安定したサービス提供体制の構築

→採用のスピードアップを図り、常勤7名、非常勤3名の採用ができた。

(2) 行事、広報活動の拡大

→アジール祭りだけでなく、子ども対象のBBQ大会を行った。
→広報委員会を立ち上げた。

(3) 居住系を含めた、今後の地域生活支援の展開についての議論

→居住施設整備プロジェクトの設置、居住系施設の視察を行った。
→自立支援協議会、AOI事業所等連絡会への参画を行った。